

平成30年度 朝霞市立朝霞第十小学校学力向上プラン

教育に関する3つの達成目標効果の検証結果

| | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 学校全体 |
|-------|---------|----|----|----|----|----|----|------|
| 読む・書く | 29 (実績) | 97 | 96 | 93 | 91 | 92 | 96 | 94 |
| | 28 (実績) | 97 | 97 | 87 | 97 | 93 | 97 | 95 |
| | 27 (実績) | 98 | 93 | 92 | 94 | 91 | 96 | 94 |
| | 26 (実績) | 93 | 97 | 92 | 93 | 95 | 96 | 94 |
| 計算 | 29 (実績) | 95 | 93 | 97 | 94 | 95 | 97 | 95 |
| | 28 (実績) | 94 | 95 | 92 | 98 | 92 | 97 | 95 |
| | 27 (実績) | 96 | 91 | 94 | 96 | 93 | 98 | 95 |
| | 26 (実績) | 93 | 97 | 97 | 95 | 96 | 98 | 96 |

学校教育目標

- 【い】意欲ある子
- 【か】考える子
- 【す】健やかな子

学校研究課題

多様な感じ方や考え方を伝え合い、自分の考えを深めようとする児童の育成
～児童の主体的な考えを促す指導法の工夫～

平成29年度教育に関する3つの達成目標検証結果【本校独自実施、正答率が90%以下の項目】

(読む・書く)

- 3年～文章読解・国語辞典の使い方
- 4年～文章読解・作文
- 5年～文章読解・漢字

(計算)

- 1年～2位数と1位数の計算・時刻の読み方
- 2年～2けたのたし算・ひき算の筆算 文章問題、単位
- 4年～整数の除法(2位数÷1位数、あまりあり)筆算
- 5年～分数の計算(約分)・異分母分数の引き算



平成30年度全国学力・学習状況調査結果(6年)

【成果】

- 「朝食を毎日食べる」「毎日同じくらいの時刻に寝る・起きる」など、基本的な生活習慣は確立されている。
- (国語) A問題「話すこと・聞くこと」の正答率が、全国や県と比較して大幅に上回った。
- (算数) A・B問題共に、平均正答率が全国・県を上回った。

【課題】

- 家で学校の授業の予習・復習をしている人の割合が低い。
- (国語) A問題「読むこと」に関する問題の正答率が低い。
- (算数) 全国・県と同じ傾向であるが、B問題の正答率が低い。特に「数量関係」や「記述式」の問題の正答率が低い。
- (理科)「知識」を問う問題の正答率が低い。

本校の課題

- 思考力・判断力・表現力の育成
 - ・文章の内容を的確に読み取ること
 - ・文章の構成に関する理解
 - ・伝えたいことが分かる文章を書くこと
- 学習したことを活用する力
 - ・量を表す単位の読みや換算
 - ・小数のかけ算やわり算
 - ・分数のたし算やひき算

本校の児童に身につけさせたい学力

- 基本的な知識・技能
- 知識・技能を活用するための思考力・判断力・表現力
- 聴き合い、伝え合うコミュニケーション能力
- 主体的に学習に取り組む態度・意欲

学力向上のために

各教科等の授業における取組

- (全教科) 聴き合い、伝え合う活動を充実させる。(ペア対話・グループ対話)
- (全教科) 自分の思いや考えを整理するために書く活動を取り入れる。
- (全教科) 体験的・問題解決的な活動を通して言語活動を充実させる。
- (国語) 文章をすらすら読める。文章の組み立てを理解する。主語・述語の関係を明らかにして文章を書く。
- (算数) 数学的活動を取り入れた授業を展開する。ワークシートを活用する。繰り返しにより基礎基本の定着を図る。

授業以外の取組

- 学習環境の整備
 - ・教材・教具の工夫
 - ・教材研究の充実
- 朝読書の充実
 - ・ボランティアによる読み聞かせの充実
- ステップアップ教室の充実(3・4学年)

家庭・地域との連携

- 家庭学習の工夫
 - ・家庭学習の手引きの活用
 - ・10分×学年+10分の習慣
- 家庭の理解と協力
 - ・基本的な生活習慣の確立
- 学校応援団の活用
 - ・学習ボランティアの活用